

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)の状況及び効果等

支援策(取組)名称	事業者選定時における 企画提案(事業計画書)の概要	支援状況(実績)及び効果		左記の状況及び効果を踏まえた課題分析と今後の改善策等 【凡例】 ○:課題分析 ●:今後の改善策等
すべての支援と 連動した 『見える化』の推進	■地域カルテの活用推進 ・すべての支援と連動した『見える化』の推進 ・地域の様々なデータ(人口動態、経済状況等)と支援方針をまとめた「地域カルテ」をブラッシュアップ ・地域が取り組むべき課題、支援策を含む官民協働のあり方の整理 ・地域との共有の際には、ファシリテーション手法等を用いた、連携協働、ネットワークづくり、活動推進等の支援を行い新たな活動展開へと繋げる 〈区レベルの支援方針の視点〉 ①新規住民とのコミュニティ形成 ②旧住民とのコミュニティ強化 ③地域課題解決に向けた既活動の強化 ④開かれた組織運営の継承を指標	＜支援状況＞ ○区役所と連携・協働し、地域の現状分析と今後の支援方針を整理した「地域カルテ」の策定 ○「地域カルテ」の地域・区役所(まちづくりセンター)の共有 ○地域が描く将来像「仮」地域将来ビジョン」策定や地活協等支援メニューとのマッチングによる協働まちづくりに向けた推進支援	＜効果＞ ○基礎データの整理と地域課題、地活協支援メニュー等を整理した「地域カルテ(基本データ)」を作成 …地域カルテ(基本データ)の分析を踏まえ支援テーマ(マンション対策や防災活動の推進等)を設定(仮) …地域との情報共有には至っていない	○区内各地域の基礎データ・地域課題の整理・分析により、重点的な支援テーマ(3～4テーマ程度)として絞り込まれつつある。 …マンションコミュニティとのつながりづくり、既存コミュニティの強化・再構築、防災まちづくり、地域活動自律化 など ●今後は、区役所と地域が共有する情報として地域カルテの内容拡充(地域・住民目線による地域課題、将来ビジョンなど)と、地活協(構成員)をはじめとした様々な市民・活動主体を含む共有化プロセスの構築が必要である。 ●将来ビジョン的な発想については、地域ごとにそのとらえ方にあり、地域カルテの共有・活用プロセスの推進方法の詳細な検討が必要である。
多彩なテーマの 勉強会の開催 (まちづくりセンター主催)	■多彩なテーマの勉強会の開催 ・地域課題に対応した多彩なテーマの勉強会・講演会等の開催 ・各地域間の課題や取り組みについての意見交換 ・他地域の先行事例を学び同じ悩みを持つ地域間の情報共有と連携を図る ・ネットワーク拡大へとつなげるとともに新たな支援の検討 ・参加者は、地活協の委員に限らず、地縁団体や区内で活動している団体、マンション住民や組合、企業などテーマにより呼びかけを行う	＜支援状況＞ ○地域ニーズを踏まえた勉強会・意見交換会を開催 ※新型コロナウイルス感染防止のため実施方針を検討中	＜効果＞ ○多様な人が参加する勉強会の開催は、これまで希薄だった層に刺激を与え、新たなつながりを生み、その他の行事参加促進へつなげる効果が期待できる。 ○新型コロナウイルス拡大防止に伴う、活動・会議実施時の注意事項や対応した新しい取組の検討など、勉強会に代わる地域ニーズへのとりくみとして、支援を行っている。	○新型コロナウイルス感染防止のため、当初計画していた会議形式の勉強会開催が難しい状況にある。 ●新しい生活様式・withコロナに対応した勉強会のしくみ検討が必要である。 ●新しい生活様式・withコロナに備えた地域ニーズを整理し、適切な情報提供を進める必要がある。
マンションコミュニティ を核とした地域との よりよい関係形成支援	■マンションコミュニティとの関係形成支援 ・西区住民の9割がマンション居住者 ・近年も増加の傾向にあり、地域に与える影響は大きい ・地域とマンションの関係形成は重要な課題 ・マンション管理組合や管理会社への積極的アプローチの推進	＜支援状況＞ ○マンション入居者をはじめとした西区住民(転入者)への広報として、まちづくりセンター広報を活用した地域情報発信 ・まちセンだより・広報パネル ・区役所 魅力発信コーナー/地域広報紙ブースの設置 ・アナログラムの運用 ・フェイスブック・Instagramの運営 ○防災等の共通の活動テーマをキッカケにした管理組合等との活動協働の推進支援	＜効果＞ ○区役所 魅力発信コーナーの設置(地域情報コーナーのリニューアル)、新たな地域情報ツール「アナログラム」の運用により、マンション居住者に対し、地域活動の周知を強化した。 ○新型コロナウイルス感染防止に伴い、管理組合等へのアプローチや協働した取組などが行えず、進捗がない。	○西区内居住者の大部分を占めるマンションコミュニティとの関係構築は、西区の地域活動における共通の課題であるが、一方でマンションコミュニティからの参画意識はまだまだ希薄な状況にあるようである。 ○さらに、新型コロナウイルス感染防止に伴う対面活動が自粛されており、接触機会を設ける事ができていない。 ●マンションコミュニティと地域活動において共通するニーズをキッカケに相互連携のコーディネートをするため、ニーズの分析と当事者との共有のしくみの構築が必要となる。 ●昨年度より、防災をキーワードにした取組を推進しており、防災対策の連携に向けた地域防災活動への参加促進や協働した防災活動の推進が必要である。 ●さらに、新しい生活様式・withコロナにおける連携のしくみの検討が必要である。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)の状況及び効果等

支援策(取組)名称	事業者選定時における企画提案(事業計画書)の概要	支援状況(実績)及び効果	左記の状況及び効果を踏まえた課題分析と今後の改善策等 【凡例】○:課題分析 ●:今後の改善策等
まちづくりセンターと地域の協働による広報活動	■まちづくりセンターと地域の協働による広報活動 ・今まで繋がりの薄かった若い世代、新規住民、地域団体、企業等へ地活協や地縁団体活動を周知 ・幅広くまちづくりセンターの活用を促す ・地域課題に基づいた広報テーマの設定 ・地域でアピールしたいことなど分かりやすく広報する	＜支援状況＞ ○まちづくりセンターによる広報 ・まちセンだより(広報紙)作成・配布 ・広報パネル作成 ・魅力発信コーナー／地域広報紙ブースのリニューアル ・フェイスブック・Instagramの更新 ・西区広報紙”かぜ”への地活協情報の提供 ○「アナログラム」の開設・運営 ・日頃の地域情報を気軽に情報発信できる新しい広報のプラットフォーム ○地域広報のサポート ・地域広報の作成・発行・周知・活用等について、担当者等との意見交換をふまえた指導・助言等	○SNSなどの利用者が拡大する中で、地域情報についても電子媒体を活用した広報の必要性が高まっている。 一方で、各地域情報の広報は印刷物の掲示・配布が中心である。 ○また、防災対策や高齢対策、こどもの安全・健全育成など、地域活動に求められるニーズは多岐にわたることから、新しい居住者・担い手への情報発信には、より幅広い内容をより幅広く伝える必要がある。
△西区広報紙”かぜ”に地域活動協議会の紹介記事		△西区役所1階 地域魅力発信コーナー設置・「アナログラム」設置	△まちセンだより(最新号)
			△アナログラムの運営:身近な情報を写真と一言コメントで伝える